

NPO 法人 ボーダレスファウンデーション財団 理事
中村 涼香（なかむら すずか）氏 略歴



2000 年長崎県生まれ。祖母が被爆者の被爆 3 世。

活水高校時代平和学習部に入部し、高校生 1 万人署名活動や座り込み、デモなどを中心に被爆地長崎を拠点に平和活動をはじめ。

2017 年にノーベル平和賞を受賞した ICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）キャンペナーとして核兵器禁止条約を推進し、2022 年、2023 年に国連で開催された締約国会議に出席。

日本での活動として、全国会議員の核兵器禁止条約への立場を可視化する議員ウォッチのリサーチャーとして活動しながら、被爆地の外でのアクションをさらに広げるために東京を拠点とした「KNOW NUKES TOKYO」を設立。

2024 年には被爆体験を継承するために、東京大学で「あたらしいげんばく展」を企画し、20 社以上のメディアに取り上げられる。

「ソーシャルビジネスしかやらない会社」として世界 13 カ国で 50 事業を展開する株式会社ボーダレスジャパンから新たに立ち上がった NPO 法人ボーダレスファウンデーションにて、現在は理事を務めている。今年は 2,000 人を対象に平和をテーマにしたアンケートを行い、現代を生きる人々の平和観を調査。このデータをもとにした「ピースアクション診断」などのコンテンツを制作し、8 月に東京・日比谷で「へいわのつくりかた展」を開催。

2025 年 10 月、国連 SDG s Young Leaders に選出。